



TREND MICRO *InterScan VirusWall* スタンダードエディション Ver6.02 新機能概要

トレンドマイクロ株式会社

2007/4/16

•Copyright (C) 2007 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

•本ドキュメントに関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。

•トレンドマイクロ株式会社が事前に了承している場合を除き、形態および手段を問わず本ドキュメントまたはその一部を複製することは禁じられています。

•本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本ドキュメントの記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。

•本ドキュメントおよびその記述内容は予告なしに変更されることがあります。

•本ドキュメントは2007年4月16日現在の情報をもとに作成されたものです。今後、価格の変更、仕様の変更、バージョンアップ等により、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。

•TRENDMICRO、INTERSCAN、InterScan、InterScan VirusWallは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

•本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

TREND MICRO InterScan VirusWallスタンダードエディション Ver6.02 Windows版 / Linux版



【新機能】

- ◆ Trend Micro Control Manager(TMCM)連携
- ◆ NetWork Reputation Service(NRS)サポート
TREND MICRO Net Work Reputaiton Serviceは、TREND MICRO Email Reputaiton Serviceに名称変更を行ってます。ISVW SE 6.02のUI上では、旧名称を使用していますので、ここでは旧名称を使用しています。
- ◆ InterScan VirusWall for SMBからのマイグレーションツールの搭載
- ◆ SMTPの検索およびスパイウェア対策の受信と送信の個別設定対応
- ◆ 隔離メールの再配信
- ◆ HTTP検索における大きいサイズのファイルの処理
(Linux版は現行6.0で搭載済み)

出荷開始予定時期 : Windows版4月25日 / Linux版は6月予定

Control Manager (TMCM)連携

Trend Micro Control Managerと連携が可能になりました。これによって、ウイルスバスター コーポレートエディション等の他のトレンドマイクロ製品群と統合的に管理を行うことが可能になりました。

The screenshot shows the 'Control Manager' settings page in the Trend Micro InterScan VirusWall interface. The page is divided into a left-hand navigation menu and a main content area. The navigation menu includes sections for '概要' (Overview) and '管理' (Management), with 'Control Manager設定' (Control Manager Settings) selected. The main content area is titled 'TREND MICRO™ InterScan™ VirusWall™' and contains several configuration sections: '接続ステータス' (Connection Status) showing '登録済みのControl Managerサーバ: 未登録' (Registered Control Manager servers: none); '接続設定' (Connection Settings) with 'エンティティ表示名 *:' (Entity display name) set to 'jip-wsato-vm_ISVW'; 'Control Managerサーバ設定' (Control Manager Server Settings) with fields for 'サーバのFQDNまたはIPアドレス *:' (Server FQDN or IP address), 'ポート *:' (Port) set to 443, and a checked box for '接続にHTTPSを使用する' (Use HTTPS for connection); 'Webサーバ認証:' (Web server authentication) with fields for '(ドメイン)ユーザ名:' (Domain user name) and 'パスワード:' (Password); and 'MCPプロキシ設定' (MCP Proxy Settings) with an unchecked checkbox for 'Control Managerサーバとの通信にプロキシサーバを使用する' (Use proxy server for communication with Control Manager server) and radio buttons for 'プロトコル:' (Protocol) set to HTTP.

IPレピュテーションサービスのサポート

IGSA同様にNetWorkReputationService (IPレピュテーションサービスによるスパムメール対策)と連携が可能になります。IGSA同様に、特別に追加料金を払わずにNRSの機能を利用することができます。

TREND MICRO™ InterScan™ VirusWall™

SMTPスパムメール対策 (Network Reputation Services)

防御の第一線として、Trend Micro Network Reputation Servicesは、ネットワークに流入する前に最大80%のスパムメールを阻止し、メールゲートウェイセキュリティとITリソースの負荷を抑えます。スパムメールのブロックには、世界最大規模で信頼のある、既知のスパムメール情報の評価データベースを確認し、受信メールのIPアドレスを照合します。Network Reputation Servicesのレベルを選択してお使いのネットワーク環境で利用できます。トレンドマイクロではサービスレベルに「低」を選択することをお勧めします。

対象 **処理**

SMTPスパムメール対策を有効にする (Network Reputation Services)

サービスレベル設定

低 - この設定を選択すると、Trend Micro RBL+ Service を使用し、スパムメールを送信する既知の発信元を検出し、ブロックします。

高 - この設定を選択すると、RBL+およびQILサービスを包含する Trend Micro Network Anti-Spam Service を使用します。QILサービスでは、高度で動的なリアルタイム検出を提供し、以前にスパム送信履歴のない現在活動中の発信元をブロックします。この設定はボットネットやゾンビによる攻撃の防御に適しています。

許可するIPアドレス

許可するIPアドレス:

IPアドレス
なし

例:
10.1.24.*
192.168.2-254

TREND MICRO Net Work Reputaiton Serviceは、TREND MICRO Email Reputation Serviceに名称変更を行ってます。ISVW SE 6.02のUI上では、旧名称を使用していますので、ここでは旧名称を使用しています。

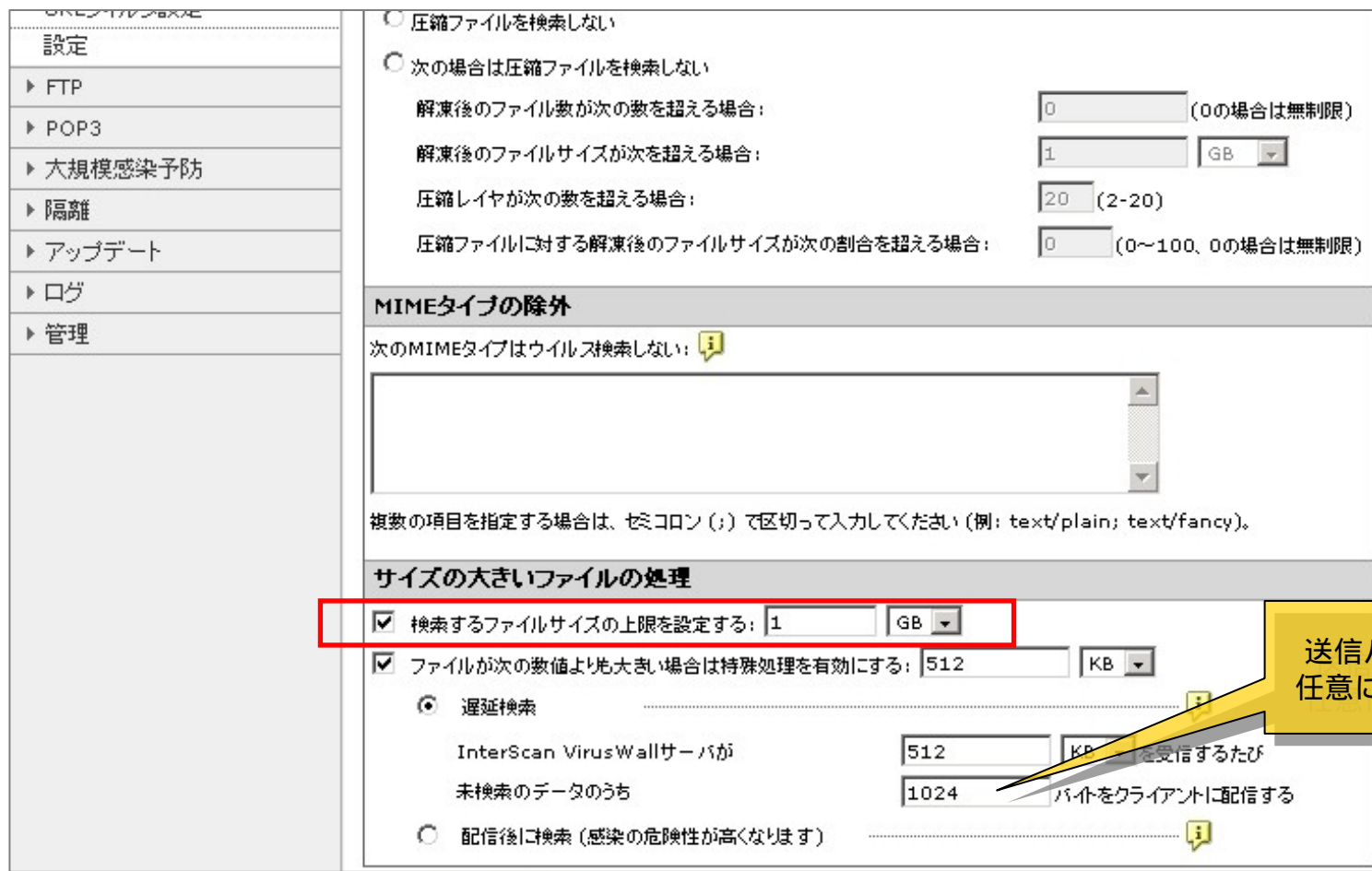
受信と送信を個別設定可能(検索 & スパイウェア対策)

従来メニュー自体がひとつのカテゴリになっていた受信時、送信時の設定についてIGSA同様に個別に設定することが可能になりました。

The screenshot displays the Trend Micro InterScan VirusWall configuration interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 概要, SMTP (expanded), 検索, 受信, 送信, Intellitrapp, フィッシング対策, スпамメール対策, Network Reputation Services, コンテンツ検索, スパイウェア対策, 受信, 送信, コンテンツフィルタ, 設定, HTTP, FTP, POP3, 大規模感染予防, 隔離, アップデート. The '検索' and 'スパイウェア対策' items are circled in red. The main content area is titled 'SMTP検索 (送信)' and includes tabs for '対象', '処理', and '通知'. Under the '対象' tab, there is a checked checkbox for 'SMTP検索 (送信) を有効にする'. Below this, there are sections for '検索対象ファイル' and '圧縮ファイルの処理'. The '検索対象ファイル' section has three radio button options: '検索可能なすべてのファイル' (selected), 'トレンドマイクロの推奨設定: 実際のファイルタイプによる識別', and '指定のファイル 拡張子...'. The '圧縮ファイルの処理' section has three radio button options: 'すべての圧縮ファイルの検索' (selected), '圧縮ファイルを検索しない', and '次の場合は圧縮ファイルを検索しない'. The '次の場合は圧縮ファイルを検索しない' option is expanded to show four conditions with input fields: '解凍後のファイル数が次の数を超える場合:' (100), '解凍後のファイルサイズが次の数を超える場合:' (1 GB), '圧縮レイヤが次の数を超える場合:' (14), and '圧縮ファイルに対する解凍後のファイルサイズが次の割合を超える場合:' (100). At the bottom, there is a 'マクロ検索' section with an unchecked checkbox for 'マクロを含むすべてのMicrosoft Officeファイルを隔離する'.

サイズの大きいファイルの処理

遅延検索においてクライアントへ送信されるバイト数を任意に設定可能



設定

- ▶ FTP
- ▶ POP3
- ▶ 大規模感染予防
- ▶ 隔離
- ▶ アップデート
- ▶ ログ
- ▶ 管理

圧縮ファイルを検索しない

次の場合は圧縮ファイルを検索しない


解凍後のファイル数が次の数を超える場合: (0の場合は無制限)

解凍後のファイルサイズが次の数を超える場合: GB

圧縮レイヤが次の数を超える場合: (2-20)

圧縮ファイルに対する解凍後のファイルサイズが次の割合を超える場合: (0~100、0の場合は無制限)

MIMEタイプの除外

次のMIMEタイプはウイルス検索しない: 

複数の項目を指定する場合は、セミコロン (;) で区切って入力してください (例: text/plain; text/fancy).

サイズの大きいファイルの処理


検索するファイルサイズの上限を設定する: GB

ファイルが次の数値より大きい場合は特殊処理を有効にする: KB

遅延検索

InterScan VirusWallサーバが KB を受信するたび

未検索のデータのうち バイトをクライアントに配信する

配信後に検索 (感染の危険性が高くなります) 

隔離したメールの再配信機能

隔離されたメールを管理者が再配信を行うことができるようになりました。再配信前にもう一度検索を実行することも可能です。

TREND MICRO™ InterScan™ VirusWall™

隔離クエリ

条件

年月日 (yyyy/mm/dd) 時 分 年月日 (yyyy/mm/dd) 時 分
日時: 2007/03/05 16:16 から 2007/04/13 15:48

タイプ: メールメッセージとファイル

原因:
 すべての原因:
 特定の原因:
 ウイルス検索 コンテンツフィルタ IntelliTrap
 スパイウェア/グレーウェア スпамメール フィッシング

送信者:
受信者:
件名:
添付ファイル:

ログ表示: 日時

1ページあたりの件数: 10

2007年4月13日 15:48:59 クエリ結果

<input type="checkbox"/>	日時	送信者	受信者	件名	原因	プロトコル	合計0件	0-0 / 0
<input type="button" value="移動"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="再送信"/>	<input type="button" value="検索および再送信"/>					